

科目名 Course Name	音楽セラピー Music Therapy			ナンバリング No.	D2-007		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	戸井田 睦美						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(アートセラピーユニット)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>ミュージックベルを活用した音楽療法の発表にむけて、必要な音楽的感覚・知識・技術を身に付けるとともに、協同的な表現活動を通して想像力・共感力を養う。 ミュージックベルを活用した音楽療法を実際に高齢者施設等で体験することを通して、音楽の効果について理解を深める</p> <p>①ミュージックベルを用いた音楽演奏に必要な音楽知識を習得する。 ②実施環境、対象者にとって効果的な楽曲や方法を選択し、実践することができる。 ③他者との音楽を介したコミュニケーションを通して得られた学びを的確にレポートにまとめることができる。</p>						
授業の方法	ディスカッション、グループワーク(小発表)を取り入れた授業形態で総合的な実践力の習得を図る。また、校外授業にて施設での演奏発表を行い、音楽の効果を体感する。						
学習成果	L01	音楽を介した他者との関わりを通して、協調性や共感力、判断力を身につけ、協力してミュージックベルの演奏ができる。					
	L02	音楽療法を利用した心身のケアに対し、ミュージックベルの活用ができる。また、音楽を鑑賞する楽しさや幅広い音楽への関心が高まり、豊かな感性を身につけることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	毎回、実践したグループワークに対してその場でフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。						
履修上の留意点 やルール等	●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	他の履修者と協同して取り組む姿勢、及びグループディスカッション、演習等において、各場面に適した態度であることを評価する。	30			
レポート/作品	練習過程と校外授業での成果、振り返りをレポートとしてまとめ(10点)、期限内に提出(10点)されることで評価する。	20			
発表	校外授業にて発表を行う。個々の技術と演奏、成果を評価する。		30		
小テスト	ミュージックベル演奏に必要な読譜知識を出題する		20		
試験					
その他					
合 計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、音楽療法について
	事前・事後学習	音楽療法について復習する
2	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法① -音符と拍子-
	事前・事後学習	譜読みの基礎練習をする。
3	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法② -音符とメロディ-
	事前・事後学習	譜読みの基礎練習をする。
4	授業内容	音楽の基礎知識と音楽の活用法② -和音とハーモニー-
	事前・事後学習	和音の譜読みをする。
5	授業内容	ミュージックベルの実践① -奏法-
	事前・事後学習	クリスマスの楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
6	授業内容	ミュージックベルの実践② -実践-
	事前・事後学習	クリスマスの楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
7	授業内容	ミュージックベルの実践③ -応用-
	事前・事後学習	選曲した楽曲の譜読みと曲の解釈をする。
8	授業内容	ミュージックベルの効果① -医療現場におけるその効果-
	事前・事後学習	学修している楽曲の完成を目指して練習をする。
9	授業内容	ミュージックベルの効果② -高齢者施設におけるその効果-
	事前・事後学習	学修している楽曲の完成を目指して練習をする。
10	授業内容	音楽活用法① -メロディラインの完成-
	事前・事後学習	学修している楽曲の完成を目指して練習をする。
11	授業内容	音楽活用法② -メロディとハーモニー-
	事前・事後学習	学修している楽曲の完成を目指して練習をする。
12	授業内容	音楽活用法③ -レクリエーションの考案-
	事前・事後学習	演奏発表に向けて曲の完成度を上げるための練習をする。
13	授業内容	音楽活用法④ -レクリエーションと楽曲の完成-
	事前・事後学習	演奏発表の準備と完成度を上げるための練習をする。
14	授業内容	校外授業
	事前・事後学習	校外授業での演奏実践を通して得た達成感とその現場での効果についてレポートにまとめる。
15	授業内容	校外学習の振り返りとレポート
	事前・事後学習	実践した内容について振り返り、個々で復習と整理をする。